

1. 農業経営診断予備調査書(1-1)

(個人経営)

大豆 (平成 年 月 日現在)

診断希望事項

1 経営の形態	①個人経営 ②集落組織参加		元入金 千円			
	名称		従業者数	経営者	男	女
	e-mail			従業員	男	人 女 人
	HP			家族	男	人 女 人
	所在地	〒 TEL		パート(8時間換算)	男	人 女 人
				計	男	人 女 人
	代表者名	(年齢)	作業時間	①1日あたり平均 時間		
	営業年数	年(法人化予定 年)		②年間 時間		
	決算日	月 日	休日数	①月間 日 ②年間 日		
	集団栽培	① 有り ・ ② 無し		後継者	①有り ②未定 ③無し	
2 生産部門	経営の業態		(5)栽培法等の特色			
	認定農業者		①圃場栽培(水田転換畑の利用 有・無)			
	① 取得済 ・ ② 未取得		②その他土壌の特色			
	(1)耕種	①稲作 ②麦作 ③雑穀作 ④豆類作 ⑤イモ類作 ⑥飼料作 ⑦工芸作物作() ⑧果樹作 ⑨露地野菜作 ⑩露地花き作 ⑪施設野菜作 ⑫施設花き作 ⑬施設果物作 ⑭その他()	③方法 ④パソコン等による環境自動制御化 ⑤その他()			
	(2)畜産	①酪農 ②養豚 ③肉用牛 ④養鶏 ⑤養蜂 ⑥その他	(5)栽培の課題(○印、コメントを記入) ①土壌障害 ②規模拡大に障害() ③作物の選択 ④施設管理技術 ⑤施肥管理 ⑥労働時間・作業様式 ⑦市場対応(観光客の誘引・販売確保) ⑧その他			
	(3)養蚕	①養蚕				
	(4)加工	①農産物加工(品名 ②畜産物加工(品名 ③林産加工(品名				
	3 農業経営の現状と計画	(1)作目・部門名		作物面積・飼養頭数	生産量	(5)農業経営の特色
①		ha	トン			
②		ha	トン			
③		ha	トン			
④		ha	トン			
経営面積合計		ha	トン			
(2)経営耕地						
①所有地 畑・水田・施設栽培地・他			ha			
②借入地 畑・水田・施設栽培地・他			ha			
(3)作業受委託 作業内容		面積等				
委託・受託			ha			
委託・受託			ha			
委託・受託			ha			
(4)栽培の特色		(6)作業記録・日誌の有無(有りに○印) ①防除日誌(農薬名、散布量、倍数、散布日等) ②施肥日誌(肥料名、使用量、使用日等) ③作業日誌 (7)家族協定書の実施状況 (8)今後の主要な計画				
栽培方式						
4 生産方式	◆機械・施設名 形式・性能		台数・面積等	◆生産方式の課題点		
	◆農用地の現状					

1. 農業経営診断予備調査書(1-2)

大豆 (平成 年 月 日現在)

販売関係の現状と方針	5	(1)消費者ニーズ把握 ①している ②していない (2)対象とする客層を ①決めている ②決めていない (3)直販の場合の顧客名簿 ①有り ②無し (4)販売計画 ①有り ②無し (5)計画の達成度 ①高い ②普通 ③低い (6)達成度低い時の理由	(10)農産物の部門別生産量・販売量																								
			<table border="1"> <tr> <th>生産品目</th> <th>生産量(トン、%)</th> <th>販売額(トン、%)</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>トン %</td> <td>千円 %</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>トン 100%</td> <td>千円 100%</td> </tr> </table>	生産品目	生産量(トン、%)	販売額(トン、%)	①	トン %	千円 %	②			③			④			⑤			計	トン 100%	千円 100%			
	生産品目	生産量(トン、%)	販売額(トン、%)																								
	①	トン %	千円 %																								
	②																										
	③																										
④																											
⑤																											
計	トン 100%	千円 100%																									
	(7)代金 ①農協経由 % ②現金 % ③その他 (8)販売上の問題点	(11)流通(販売)先の割合 ①農協・市場 % ②契約栽培 % ③スーパー・外食 % ④直販・朝市等 % ⑤インターネット・宅配等 % 計 100%																									
	(9)今後の販売方針・戦略の課題																										
財務会計	6	(1)会計帳簿 複式簿記 ①使用 ②使用しない パソコン活用 ①有り ②無し (2)借入金の内訳 ①政府系金融機関 千円 ②民間金融機関 千円 合計 千円 (3)利益計画 ①有り ②無し (4)計画達成 ①した ②しない (5)資金繰り表 ①有り ②無し	(6)借入金の投資内容 ①施設投資 ② (7)利益計画達成の課題																								
人事・労務関係	7	(1)人手 ①十分 ②普通 ③不足 (2)家族協定書 ①有り ②無し (3)雇用面接表 ①有り ②無し (4)雇用条件通知表 ①有り ②無し (5)雇用契約書 ①有り ②無し (6)パート就業規則 ①有り ②無し (7)労災保険 ①有り ②無し (8)雇用保険 ①有り ②無し	(9)経営組織図																								
各種マニュアル整備	8	①圃場環境整備マニュアル ①有り ②無し 光、温度など ②栽培管理用機器操作マニュアル ①有り ②無し 防除、灌水、収穫など ③溶液栽培・植物工場マニュアル ①有り ②無し ④IT操作活用マニュアル ①有り ②無し ①有り ②無し ①有り ②無し	9. 経営上の課題点 <table border="1"> <tr> <td>☐ (1)従業者の高齢化</td> <td>☐ (13)軽労化困難</td> </tr> <tr> <td>☐ (2)従業者の確保難</td> <td>☐ (14)IT化の進展困難</td> </tr> <tr> <td>☐ (3)生産方式の改善難</td> <td>☐ (15)経営規模拡大困難</td> </tr> <tr> <td>☐ (4)生産効率の低下</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <td>☐ (5)生産コストの増加</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <td>☐ (6)作業システムの不備</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <td>☐ (7)販売高の低下</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <td>☐ (8)利益率の低下</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <td>☐ (9)無減農薬の対応</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <td>☐ (10)有機栽培の対応</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <td>☐ (11)後継者難</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <td>☐ (12)施設コストの増加</td> <td>☐</td> </tr> </table>	☐ (1)従業者の高齢化	☐ (13)軽労化困難	☐ (2)従業者の確保難	☐ (14)IT化の進展困難	☐ (3)生産方式の改善難	☐ (15)経営規模拡大困難	☐ (4)生産効率の低下	☐	☐ (5)生産コストの増加	☐	☐ (6)作業システムの不備	☐	☐ (7)販売高の低下	☐	☐ (8)利益率の低下	☐	☐ (9)無減農薬の対応	☐	☐ (10)有機栽培の対応	☐	☐ (11)後継者難	☐	☐ (12)施設コストの増加	☐
	☐ (1)従業者の高齢化	☐ (13)軽労化困難																									
☐ (2)従業者の確保難	☐ (14)IT化の進展困難																										
☐ (3)生産方式の改善難	☐ (15)経営規模拡大困難																										
☐ (4)生産効率の低下	☐																										
☐ (5)生産コストの増加	☐																										
☐ (6)作業システムの不備	☐																										
☐ (7)販売高の低下	☐																										
☐ (8)利益率の低下	☐																										
☐ (9)無減農薬の対応	☐																										
☐ (10)有機栽培の対応	☐																										
☐ (11)後継者難	☐																										
☐ (12)施設コストの増加	☐																										

2. 診断調査表(2-1)

大豆

1. 農業経営の沿革										
(1)経営規模の推移と内容 (2)栽培方式の転換などの経過 (3)現在の経営規模と生産方式 (4)現在の経営の特色										
2. 農業コンセプト(○印をつける)										
(1)食の安心・安全を基本にして栽培している。①いる ②いない (2)販売先・消費対象客を定めて栽培している。①いる ②いない ③一部は契約栽培している (3)無・減農薬・有機栽培している。 ①いる ②いない ③一部はしている (4)省力化・機械化を導入して効率化を図っている。 ①いる ②いない ③まだ不十分 (5)ISO 14001・9001の導入 ①している ②していない										
3. 作目・品種部門の内容										
記入欄	作目	種目	品種	作型	施設種類	面積(%)	栽培方式	無農薬	減農薬	有機栽培
4. 施設・栽培方式の経緯										
作目	年度				(	5. 栽培変更計画中の作目・品種は				
大豆	平成 年	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール					
	平成 年	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール					
	平成 年	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール					
	平成 年	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール					
	平成 年構成比	%	%	%	%					
	品種名									
作目	年度					備考欄				
	平成 年	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール					
	平成 年	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール					
	平成 年	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール					
	平成 年	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール					
	平成 年構成比	%	%	%	%					
	品種名									
作目	年度									
	平成 年	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール					
	平成 年	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール					
	平成 年	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール					
	平成 年	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール	ヘク タール					
	平成 年構成比	%	%	%	%					
	品種名									
6. 収穫方法										
7. 作目・品種・立地条件などの問題点										

3. 診断調査表

1. 大豆栽培体系(フクユタカのモデル例)

月旬	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下
生育ステージ						○	→					
主要作業名						耕起・播種・施肥	中間培土 間引・補植	追肥 中間培土			収穫・調整 乾燥	

2. 大豆栽培体系(受診農園の場合)

月旬	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下
生育ステージ												
主要作業名												

4. 農産物生産の作業別労働時間調査表

大豆

10アール当り

区分	実績	10アール換算 A	静岡県モデル B	A/B × 100
(1) 作付け面積		10アール		
(2) 延作業人数 () 内雇人数			2人(0人)	
(3) 労働時間合計 () 内1人当たり労働時間			5時間(2.5時間)	
① 直接労働時間計			2.78時間	
イ. 種子予措			0.04時間	
ロ. 堆肥・改良剤散布			0.13時間	
ハ. 排水対策			0.26時間	
ニ. 耕起			0.22時間	
ホ. 整地			0.20時間	
ヘ. 施肥			0.21時間	
ト. 播種			0.28時間	
チ. 除草剤散布			0.26時間	
リ. 中耕			0.32時間	
ル. 培土			0.32時間	
ヌ. 病虫害防除			0.54時間	
② 間接労働時間計			2.22時間	
イ. 収穫			0.59時間	
ロ. 乾燥			0.11時間	
ハ. 調整			0.88時間	
ニ. 出荷			0.14時間	
ホ. その他			0.50時間	
(4) 労働費区分			5時間	
① 家族労働			5時間	
② 雇用			-	

(注) 診断先の所属都道府県のモデル指標又は農林水産省統計情報部指標を活用する。

5. 収益・費用調査表

(大豆)		調査対象 A		基準モデル B		A/B ×100	(単位: kg、円、%)
項 目		全 体	10a 当り	全 体	10a 当り		摘 要
粗 収 益	生産量			420	3.5		俵数
	販売単価			12,498	12,498		1 俵(=60kg) 当り 単価
	生産額			5,249,160	43,743		
	副産物収入			0	0		
合 計				5,249,160	43,743		①
経 営 費	変 接 生 産 動 費	直 種 苗 費		374,400	3,120		
		肥料費		386,400	3,220		
		農薬費		799,488	6,662		
		光熱動力費		74,160	618		
		諸材料費		0	0		
		小農具費		11,429	95		
		賃料料金		0	0		
		雇用労賃		0	0		
		水利費		154,320	1,286		
		その他		0	0		
		計		1,800,197	15,002		
	出 荷 費 経 費	資材費		65,520	546		
		運賃		0	0		
		手数料		33,600	280		
		その他		0	0		
		計		99,120	826		
	小 計			1,899,317	15,828		
	費 固 定 費	減価償却費		1,492,992	12,442		
		成園費・成畜費		0	0		
		借地料		924,000	7,700		
		修繕費		602,489	5,021		
		その他		0	0		
	小 計			3,019,481	25,162		
合 計				4,918,798	40,990		②
成 果	農 業 所 得			330,362	2,753		③=①-②
	所 得 率			6.3%	6.3%		③÷①
	家族労働1時間当たり所得			551	551		③÷T (円/時間)
	家族労働見積額			1,080,000	9,000		
	自己資本利子見積額			299,557	2,496		
	自己地代見積額			103,200	860		
	生産費(全額参入生産費)			6,401,554	53,346		④
	利潤			-1,152,394	-9,603		⑤=①-④
	利潤率			-22.0%	-22.0%		⑤÷①
	総労働時間(時間)			600	5		
	家族労働時間			600	5		T
	雇用労働時間			0	0		

(注) モデル基準値は、静岡県農水部原単位指数を利用

I. 農業経営診断予備調査表(個人経営者用1-1)

年 月 日

診断希望事項					
1 個人経営の概要	所在地	〒 TEL		家族従業者	男 人 女 人
	個人経営氏名	(年齢)		従業者数	雇用従業者 男 人 女 人
	就農年数	年 (うち認定農業者 年)		パート(8時間換算)	男 人 女 人
	認定年月日	第一回認定 H 年 月 日 第二回認定 H 年 月 日		その他()	男 人 女 人
	経営の特徴	①エコファーマー②指導農業者 ③その他()		計	男 人 女 人
	経営の業態	①単一経営 ②複合経営()		作業時間	①1日当り平均②年間
	収入・所得	収入(万円) 所得(万円)		休日数	①月 日 ②年間 日
	後継者				①有り ②未定 ③無し
2 生産部門☆該当に○印を	(1)耕種	①稲作 ②麦作 ③雑穀作 ④豆類作 ⑤いも類作 ⑥飼料作 ⑦工芸作物作() ⑧施設野菜作 ⑨路地野菜作 ⑩果樹作 ⑪施設花き作 ⑫路地花き作 ⑬その他()		(5)栽培方法等の特色	
	(2)畜産	①酪農 ②養豚 ③肉用牛 ④養鶏 ⑤養蜂 ⑥その他		(6)生産品の将来計画(予定)	
	(3)養蚕	①養蚕			
	(4)加工	①農産物加工(品名) ②畜産物加工(品名) ③林産物加工(品名)			
	◇作目・部門名	作物面積・飼養頭数	生産量	◇農業経営の課題	
	①小麦	ヘクタール		①生産部門	
	②			②貸付農家数と作付面積の内訳	
	③			貸付数 貸付面積 地代10a	
3 農業経営の現状と計画	④			(a)	
	経営面積合計	ヘクタール			
	◇経営耕地	地目	面積		
	①所有地	畑・水田・他	ヘクタール		
	②借入地	畑・水田・他	ヘクタール		
	◇作業受委託	作業内容	面積等	③貸付農地の問題点	
			ヘクタール	—飛地・区画 —地代 —その他	
4 生産方式	◆機械・施設名	型式・性能	台数・面積等	◆生産方式の問題点	
	①トラクター				
	②コンバイン				
	③				
	④				
	⑤建物施設				
	⑥加工施設				
	◆農用地の現状	① ② ③			

I. 農業経営診断予備調査表(個人経営者用1-2)

年 月 日

5 販売関係の現状と方針	(1)消費客のニーズ把握 ①している ②していない (2)対象とする客層を ①決めている ②決めていない (3)直販の場合の顧客名簿 ① 有 ② 無 (4)販売計画 ① 有 ② 無 (5)計画の達成度 ①高い ②普通 ③低い (6)達成しない理由 (7)代金 ①農協経由 % ②現金 % ③その他 % (8)販売上の問題点 (9)今後の販売方針戦略の課題	(10)農産物の部門別・生産量と販売額 <table border="1"> <thead> <tr> <th>生産品目</th> <th>生産量(トン)</th> <th>販売額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr> <td>計</td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> (11)流通(販売)先の割合 ①農協 ②契約栽培 ③スーパー・外食 ④直販・朝市等	生産品目	生産量(トン)	販売額(千円)																						計		
	生産品目	生産量(トン)	販売額(千円)																										
計																													
6 財務会計	(1)複式簿記(パソコン活用 有 ・ 無) (2)借入金の内訳 ①政府系金融機関(公庫) 千円 ②民間金融機関 (公庫) 千円 (3)利益計画 有 ・ 無 (4)計画達成 した ・ しない (5)資金繰表 有 ・ 無	(6)借入金の投資内容 (7)利益計画達成の課題																											
7 人事・労務関係	(1)人 手 ①十分 ②普通 ③不足 (2)作業標準 有 ・ 無 (3)就業規則 有 ・ 無 (4)給与規定 有 ・ 無 (5)家族協定 有 ・ 無 (6)農業者年金 有 ・ 無 (7)福利厚生 有 ・ 無 (8)安全衛生規則 有 ・ 無	(9)経営組織図(作業分担)																											
8 経営理念	(1)経営基本のコンセプト (2)栽培(生産)コンセプト	☆経営上の問題点(該当に○印) ①経営者の高齢化 ⑥作業システムの不備 ②後継者の確保難 ⑦販売高の低下 ③生産方式の改善! ⑧利益率の低下 ④生産効率の低下 ⑨無減農薬の対応 ⑤生産コストの増加 ⑩有機栽培の対応																											
9. 所見																													

Ⅱ. 診断調査表(個人経営者用1-1)

年 月 日

1. 農業経営の沿革(面積・受・委託面積の拡大・機械化の導入レベル・販売先の部門等)						
(1) 就農時の経営規模と内容	①面積	ha	②従業者数	人		
(2) 第一回認定時の経営規模と内容	①面積	ha	②従業者数	人		
(3) 第二回認定時の経営規模と内容	①面積	ha	②従業者数	人		
(4) 現在の経営規模と内容	①面積	ha	②従業者数	人		
(5) 現在の経営の特徴						
2. 経営コンセプト						
(1) 食の安心・安全を基本コンセプトにして省力化、効率化経営をビジョンとしているか。						
	①いる	②いない				
(2) 消費対象客を定めて栽培しているか。	①いる	②いない				
(3) 無・減農薬・有機栽培をしているか。	①いる	②いない				
(4) その他の考え方						
3. 将来構想、中長期目標						
(1) 5年後の目標						
(2) 10年後の目標						
4. 作目・品種部門						
作目	種目	品種	作型	耕法	面積(ha)	減・無農薬
小麦		農林61号				
水稻	うるち	コシヒカリ	移植苗	代かき		
水稻	もち					
大豆						
野菜						
野菜						
そば						
6. 作目・品種、立地条件等の問題点						
7. 販売・受注状況・販売活動の特色						
品質	販売先例示		販売先	受注(契約栽培等)		
小麦1等	インターネット宅配 100%					
小麦2等	コンビニ 50%・ホテル 50%					
小麦3等	食堂チェーン 100%					
規格外	農協出荷 80%・食堂 20%					
米						
野菜						

Ⅱ. 診断調査表(個人経営者用1-2)

年 月 日

8. 機械・設備の状況と作業受委託の状況

(1) 機械設備

①トラクター(台)(馬力)

②田植え機(乗用型 条 台、歩行型 条 台)

③コンバイン 条 台 ④乾燥機 kg 基

(2) 作業受託 ①耕起 ha ②代かき ha ③田植 ha ④収穫・乾燥 ha

(3) 受託費 ①耕起 円/10a ②代かき 円/ha ③田植 円/ha

④収穫・乾燥 円/ha

(4) 受託作目 ①水稻 ha ②小麦 ha ③大豆 ha ④そば ha ⑤その他 ha

(5) 作業委託 ①耕起 ha ②代かき ha ③田植 ha ④収穫・乾燥 ha

(6) 委託費 ①耕起 円/10a ②代かき 円/ha ③田植 円/ha

④収穫・乾燥 円/ha

(7) 委託作目 ①水稻 ha ②小麦 ha ③大豆 ha ④そば ha ⑤その他 ha

9. 小麦生産・技術・設備状況

	認定時点	3年前	2年前	1年前	現在	備考
(1) 作付面積の変化	()	()	()	()	()	・ha ()は借地面積
(2) 作業受託	()	()	()	()	()	・ha ()は件数
(3) 作業の委託	()	()	()	()	()	・ha ()は件数
(4) 従業者人数	()	()	()	()	()	・ha ()は女性
(5) 水稻面積	()	()	()	()	()	

10. 小麦栽培作業技術について

①小麦栽培作業技術の先進地事例視察・研究の有無	(ア)有	(イ)無	(ウ)検討中
②小麦栽培作業技術体系の有無	(ア)有	(イ)無	(ウ)検討中
③小麦の栽培の収量と労働時間の基準	(ア)有	(イ)無	(ウ)検討中
④小麦の栽培費用と労働時間と収量による経営計画	(ア)有	(イ)無	(ウ)検討中

11. 労務管理の実施状況(下記の実施程度に○印をつけてください)

①労働時間の短縮・合理化	◎	○	△	×
②担い手確保や後継者養成	◎	○	△	×
③従業者への技術指導・研修	◎	○	△	×
④従業者の作業配置の適正化	◎	○	△	×
⑤従業者の労働報酬の決め方	◎	○	△	×
⑥雇用者の労働報酬の決め方	◎	○	△	×
⑦休日の決め方	◎	○	△	×
⑧労災保険への加入	◎	○	△	×
⑨農業者年金への加入	◎	○	△	×
⑩労働安全衛生管理	◎	○	△	×

12. 所見

13. 小麦栽培体系 農林61号

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	品種
旬	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	
関東地方		△—△							●—●	●			農林61号
九州地方		△—△							●—●	●			
	堆肥	排水溝掘り、 基肥、耕うん、 除草、播種		つなぎ肥 病虫害防除	麦踏み 穂肥	麦踏み 追肥	実肥 中耕、除草	病虫害防除	収穫乾燥				
静岡県		△—△							●—●				
主要作業名	選種	基肥、 起、整地、 播種		麦踏み 追肥Ⅰ	麦踏み 追肥Ⅱ				収穫				

注) 静岡県は静岡県農水部標準生産データ(平成15年)

受診農園の場合

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	品種
旬	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	
主要作業名													

Ⅲ. 栽培技術診断調査表(農林61号)

NO. 1

年 月 日

1. 実需者(製粉会社)からの要望	(1)タンパク含有量が多い (2)灰分が低い (3)粉色が良い (4)製粉歩留まりが高い (5)含水率が低い				
2. 品質目標 (三重県の事例に一部加筆)	項目	基準値	分析値		
	・タンパク質	9.5~11.5%			
	・灰分	1.6%以下			
	・水分値	13.0%以下			
	・フォーリングナンバー	300以上			
	・容積重	833g以上			
3. 土作り	項目				
	・ほ場	畑作 水田裏作			
		銘柄	投入日	投入量	
	・堆肥				
	・石灰				
	・その他				
	4. 耕起	・耕起月日			
・耕起方法		ロータリー耕 プラウ耕 その他()			
5. 種まき		薬剤名	倍率	月日	
	・塩水洗				
	・種子消毒				
	・播種月日				
	・播種方法	ばら撒き、 株撒き、 筋撒き、 ドリル撒き 広幅撒き、 その他()			
	・播種量	10a当り kg			
6. 除草	・除草剤名				
	・倍率				
	・散布量	10a当り ㍓			
	・散布月日				

Ⅲ. 栽培技術診断調査表(農林61号)

NO. 2

年 月 日

7. 施肥		肥料銘柄	施肥月日	施肥量10a当り	
	・基肥				
	・つなぎ肥				
	・穂肥				
	・追肥				
	・実肥				
8. 中耕	・中耕月日				
9. 麦踏み・土入れ	・麦踏み月日				
	・土入れ月日				
	・土入れ量	10a当り	kg		
10. 病虫害防除	・散布日				
	・農薬銘柄				
	・倍率				
	・散布量	10a当り	ℓ		
11. 収穫・調製	・刈り取り月日				
	・刈り取り機械	コンバイン その他			
	・乾燥温度				
	・水分含量				
12. 貯蔵	・形態	紙袋(30kg) フレコン(kg) サイロ(バラ)			
		その他()			
	・貯蔵温度				
	・水分含量				
13. 品質検査	・水分	%			
	・灰分	%			
	・タンパク質	%			
	・フォーリング ナンバー				
	(アミログラフ)				
14. 備考					

IV. 小麦(農林61号)の収益・費用診断調査表

平成 年 月 日

(俵、kg、円、%)

項 目		基準値	平成 年	平成 年	平成 年	対比 %	摘要	
		A: 10a当たり	B: 全体	C: 全体	D: 10a当たり	D/A × 100		
租 収 益	生産量	6.0					俵数(1俵=60kg)	
	販売単価	8,641					60kg当たり単価	
	生産額	51,846						
	副産物収入	108						
	合 計	51,954					①	
経 営 費	変 動 費	直接 生産 費	種苗費	2,046				
			肥料費	7,025				
			農薬費	5,304				
			光熱動力費	1,758				
			諸材料費	0				
			小農具費	90				
			賃料料金	1,500				
			雇用労賃	0				
			水利費	1,800				
			その他	0				
			計	19,524				
	出 荷 経 費		資材費	1,008				
			運賃	0				
			手数料	300				
			その他	0				
			計	1,308				
	小 計		20,832					
	固 定 費		原価償却費	19,356				
			成園費・成畜費	0				
			借地料	10,800				
			修繕費	7,745				
			その他	0				
	小 計		37,901					
	合 計		58,732					②
成 果	農業所得		-6,778				③=①-②	
	所得率		-13.0%				③÷①	
	家族労働1時間当たり所得		-551				③÷T	
家族労働見積額		22,140						
自己資本利子見積額		3,273						
自己地代見積額		1,200						
生産費(全額参入生産費)		85,345					④	
利潤		-33,391					⑤=①-④	
利潤率		-64.3%					⑤÷①	
総労働時間(時間)		12						
家族労働時間		12					T	
雇用労働時間		0						
損益分岐点生産額								
損益分岐点生産量								
損益分岐点安全率								

(注1) 10a当たり基準値は平成15年静岡県農水部統計を利用

(注2) B, C欄は診断先の実績を記入

V. 小麦(農林61号)の労働時間診断調査表(1)

平成 年 月 日

<作業別・時期別労働時間(10a)>

作業名	1月			2月			3月			4月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
	標準 調査	標準 調査	標準 調査	標準 調査	標準 調査	標準 調査	標準 調査	標準 調査	標準 調査	標準 調査	標準 調査	標準 調査
育 苗												
計												
本 圃												
耕起												
元肥散布												
播種												
除草剤散布												
踏圧	0.2			0.2								
防除												
追肥										0.3		0.8
計	0.2			0.2						0.3		0.8
収 穫												
刈取・脱穀												
收穫物運搬												
乾燥調整												
出荷												
計												
その他												
圃場巡回		0.2	0.2							0.2		
計		0.2	0.2							0.2		
合 計	0.2	0.2	0.2							0.2	0.3	0.8

(注)標準値は静岡県農水部標準生産データ(平成15年)

V. 小麦(農林61号)の労働時間診断調査表(2)

平成 年 月 日

<作業別・時期別労働時間(10a)>

作業名	5月			6月			7月			8月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
	標準	調査	標準	調査	標準	調査	標準	調査	標準	標準	調査	標準
育 苗												
計												
本 圃												
耕起												
元肥散布												
播種												
除草剤散布												
踏圧												
防除												
追肥												
計												
収 穫												
刈取・脱穀				2.5	1.1							
收穫物運搬				0.3	0.1							
乾燥調製					0.3	0.2						
出荷						0.2						
計				2.8	1.5	0.4						
その他												
圃場巡回	0.2		0.2									
計	0.2		0.2									
合 計	0.2		0.2	2.8	1.5	0.4						

(注)標準値は静岡県農水部標準生産データ(平成15年)

V. 小麦(農林61号)の労働時間診断調査表(3)

平成 年 月 日

<作業別・時期別労働時間(10a)>

作業名	9月						10月						11月						12月						合計	
	上旬		中旬		下旬		上旬		中旬		下旬		上旬		中旬		下旬		上旬		中旬		下旬		合計	
	標準	調査	標準	調査	標準	調査	標準	調査	標準	調査	標準	調査	標準	調査	標準	調査	標準	調査	標準	調査	標準	調査	標準	調査	標準	調査
育 苗																										
計																										
耕起											0.3	0.3														0.6
元肥散布												0.6					0.4									1
播種												0.6					0.4									1
除草剤散布												0.2					0.2						0.3			0.7
踏圧																										0.4
防除																										
追肥																										
計											0.3	0.3					1									6.4
刈取・脱穀																										3.6
收穫物運搬																										0.4
乾燥調製																										0.5
出荷																										0.2
計																										4.7
圃場巡回																										1.2
その他																										1.2
合計											0.3	0.3				1.4	1						0.3			12.3

(注)標準値は静岡県農水部標準生産データ(平成15年)

VI. 小麦作経営費診断調査表(個別農家) 1

(10a当たり生産費)

(単位 金額:円 比率:%)

平成 年 月 日

区分		標準値		実績		対比%	摘要
		A:平成16年平均	B:2~3ha	C:平成 年	D:平成 年	D/B×100	
物 財 費	種苗費	2,718	3,278				
	購入分	2,351	2,524				
	肥料費	6,953	6,199				
	購入分	6,813	6,181				
	農業薬剤費	3,958	3,164				
	光熱動力費	1,311	1,347				
	その他の諸材料費	422	404				
	土地改良及び水利費	1,014	1,730				
	賃借料及び料金	13,920	9,528				
	物件税及び公課諸負担	1,292	1,289				
	建物費	1,126	1,459				
	償却費	867	1,216				
	農機具費	8,443	8,678				
	償却費	5,670	6,545				
	生産管理費	232	121				
	償却費	33	9				
合計		41,389	37,197				
労 働 費	直接労働費	8,197	10,737				
	間接労働費	506	368				
	合計	8,703	11,105				
家族		8,493	10,968				
費用合計		50,092	48,302				
購入分(支払)		34,522	28,792				
自給		9,000	11,740				
償却費		6,570	7,770				
副産物価額		1,646	889				
生産費(副産物価額差引)		48,446	47,413				
支払利子		483	600				
支払地代		3,367	5,510				
支払利子・地代算入生産費		52,296	53,523				
自己資本利子		2,064	2,246				
自作地代		7,211	4,986				
資本利子・地代全額算入生産費 (全算入生産費)		61,571	60,755				

注)標準値は農林水産省 農業経営統計調査 平成16年度麦類生産費 2005.05.13公表による

VI. 小麦作経営費診断調査表(個別農家) 2

(60kg当たり生産費)

(単位 金額:円 比率:%)

平成 年 月 日

区分		標準値		実績		対比%	摘要
		A:平成16年平	B:2~3ha	C:平成 年	D:平成 年	D/B×100	
物 財 費	種苗費	371	566				
	購入分	321	436				
	肥料費	949	1,070				
	購入分	930	1,057				
	農業薬剤費	541	546				
	光熱動力費	179	233				
	その他の諸材料費	58	70				
	土地改良及び水利費	139	298				
	賃借料及び料金	1,902	1,644				
	物件税及び公課諸負担	176	223				
	建物費	153	252				
	償却費	118	210				
	農機具費	1,154	1,498				
	償却費	775	1,130				
	生産管理費	32	21				
	償却費	5	2				
合計		5,654	6,421				
労 働 費	直接労働費	1,120	1,854				
	間接労働費	69	63				
	合計	1,189	1,917				
家族		1,160	1,893				
費用合計		6,843	8,338				
購入分(支払)		4,716	4,970				
自給		1,229	2,026				
償却費		898	1,342				
副産物価額		225	153				
生産費(副産物価額差引)		6,618	8,185				
支払利子		66	104				
支払地代		460	951				
支払利子・地代算入生産費		7,144	9,240				
自己資本利子		282	388				
自作地代		985	860				
資本利子・地代全額算入生産費 (全算入生産費)		8,411	10,488				

注)標準値は農林水産省 農業経営統計調査 平成16年度麦類生産費 2005.05.13公表による

Ⅶ. 小麦作生産概況・収益調査表(個別農家)

平成 年 月 日

単位 金額:円 増減率:%

区 分		標 準 値		実 績		対比%	摘 要
		A:平成16年平均	B:2~3ha	C:平成 年	D:平成 年	D/B×100	
1戸当たり作付け面積 (a)		244.3	245.3				
10a当たり玄麦収量 (kg)		439	348				
10a 当 た り 労 働 時 間	直接労働時間 (時間)	5.40	7.11				
	間接労働時間 (時間)	5.40	0.27				
	計 (時間)	5.72	7.38				
	家族 (時間)	5.59	7.29				
10a 当 た り 粗 収 益	主産物	59,625	46,298				
	副産物	1,646	889				
	計	61,271	47,187				
所 得	10a当たり	15,822	3,743				
	1日当たり	22,643	4,108				
家 族 労 働 報 酬	10a当たり	6,547	△3,489				
	1日当たり	9,370	△3,829				
(参考) 場 合 （ 参 考 ） 奨 励 金 を 加 え た	所 得	10a当たり	18,422	5,666			
		1日当たり	26,364	6,218			
	家 族 労 働 報 酬	10a当たり	9,147	△1,566			
		1日当たり	13,091	△1,719			

注)標準値は農林水産省 農業経営統計調査 平成16年産麦類生産費 2005.05.13公表による

Ⅷ. 小麦生産費と収益調査表

(組織経営体・個別農家)

平成 年 月 日

単位 金額 :円

比率 :%

区 分			組織経営体 (平成15年度)	個別農家の生産費の実額 (平成16年度)		H 年実績	対比 /
			A	全国平均(B)	7ha以上(B)		
生産費	10a 当たり	物財費	34,886	41,389	43,311		
		労働費	6,990	8,703	5,559		
		費用合計	41,876	50,092	48,870		
		生産費(副産物価格差引)	40,492	48,446	46,395		
		支払利子・地代算入生産費	44,235	52,296	50,484		
		資本金子・地代全算入生産費	49,294	61,571	58,800		
	60kg 当たり	生産費(副産物価格差引)	6,167	6,618	5,743		
		支払利子・地代算入生産費	7,818	7,144	6,249		
		全算入生産費	8,712	8,411	7,278		
収益性	10a当たり粗収益		46,729	61,271	68,725		
	10a当たり所得		7,568	15,822	21,036		
	1日当たり所得		15,644	22,643	51,151		
組織概況	10a当たり収量(kg)		339	439	485		
	10a当たり労働時間(時間)		4.14	5.72	3.47		
	1組織(戸)当たり作付け面積(a)		2,554.2	244.3	1,094.5		
	組織当たり世帯数(戸)/1戸当たり世帯員(人)		33.2	4.6	—		
	農業 就業者	男(人)		0.7			
		女(人)		0.5			
		計(人)		1.2			
	経営 耕地 面積	田(a)		341.0			
		普通畑(a)		388.0			
		樹園地(a)		7.0			
		畑合計(a)		395.0			
		合計(a)		746.0			

(出所)平成15年 農業組織経営体経営調査 農林水産省 2004.05.18 公表

農業経営統計調査 平成16年度産麦類生産費 農林水産省 2005.05.13 公表

Ⅷ. 経営力チェックリスト

年 月 日

1. 認定農業者	得点		
①外部環境(経営、農政)変化への対応に取り組む姿勢は、積極的ですか	5	3	1
②現状改革に努めていますか	5	3	1
③経営理念や将来像などを文書にして従業員(家族)に明示していますか	5	3	1
④常に従業員(家族)との意思の疎通を図っていますか	5	3	1
⑤経営目標や経営方針は毎年見直してレベルアップを図っていますか	5	3	1
⑥従業員の協力体制は十分ですか(家族の経営参加・協力体制は十分ですか)	5	3	1
⑦経営問題について専門家やJA指導員と相談して解決を図っていますか	5	3	1
⑧環境保全や省資源対策に積極的に取り組んでいますか	5	3	1
⑨後継者育成に取り組んでいますか	5	3	1
⑩地域社会やJAとの連携に努め共存共栄を図っていますか	5	3	1
得点計			

2. 経営基本			
①経営目標・経営計画(長期・短期)を樹立していますか	5	3	1
②全ての業務にPDCA(計画・実施・チェック・改善行動)サイクルを実施していますか	5	3	1
③品目横断的経営安定対策に十分対応していますか	5	3	1
④従業員(家族)が経営全般について改善提案活動を行える雰囲気になっていますか	5	3	1
⑤新技術や経営情報の習得に努め経営改善に生かしていますか	5	3	1
⑥気象条件に対応して、省力化機器や新しいノウハウの導入で生産性向上に努めていますか	5	3	1
⑦常に経営資源(土地・労働力・農業投資)の有効活用を考慮していますか	5	3	1
⑧パソコンによる事務記帳、作業日誌等による経営分析を行っていますか	5	3	1
⑨生産高、損益、生産性を品目別に把握して業績向上に活用していますか	5	3	1
⑩資金調達、省力化投資などの資金運用計画は立てられていますか	5	3	1
得点計			

3. 販売管理			
①経営目標に沿って生産・販売計画を立てていますか	5	3	1
②市場情報を的確に掴み、生産・販売に反映されていますか	5	3	1
③過去の各々の販売実績を分析して、新しい販売計画を立てていますか	5	3	1
④販売高の動向について、その原因分析を行っていますか	5	3	1
⑤販売経路、販売促進、販売方法を考慮していますか	5	3	1
⑥販売先との情報交換からデータ分析し改善策を実施していますか	5	3	1
⑦消費者の意見を生産品作りに生かしていますか	5	3	1
⑧販売価格と生産費を常に意識し改善していますか	5	3	1
⑨競争産地の品質、価格を把握し、対抗戦略を考えていますか	5	3	1
⑩JA共販、市場外販売など出荷形態は適切ですか	5	3	1
得点計			

4. 生産管理			
①生産計画は、長期計画・短期計画別に立てられていますか	5	3	1
②生産計画は従業者(家族)間で協議して作成されていますか	5	3	1
③マーケット動向や消費者ニーズを考慮した生産計画になっていますか	5	3	1
④作物別の年間作業標準は作られ、それを守っていますか	5	3	1
⑤土地や設備利用の効率化に努めていますか	5	3	1
⑥地力に対応して肥料の低投入を検討し、実施していますか	5	3	1
⑦作目は自然や経済条件(環境)の特性をいかしていますか	5	3	1
⑧適期作業、適期管理が行われていますか	5	3	1
⑨農業機械の導入活用(自家用、委託)は適切ですか	5	3	1
⑩資材情報を常に収集し、低コストになるよう計画的に購入していますか	5	3	1
得点計			

5. 労務管理			
①繁忙期の人手対策を講じていますか	5	3	1
②新入者や未熟練者に対して教育は十分実施していますか	5	3	1
③目標労働時間が決められていて、目標に近づく努力をしていますか	5	3	1
④家族協定に就業規則や服務規程があり、守られていますか	5	3	1
⑤労災・社会保険・農業者年金に加入していますか	5	3	1
⑥従業者(家族)の年1回健康診断を実施していますか	5	3	1
⑦給与制になっていますか	5	3	1
⑧作業者の安全衛生基準があり、これが適切に実行されていますか	5	3	1
⑨従業員、組合員の福利厚生にも充分力をいれていますか	5	3	1
⑩意思の疎通、苦情処理にも努めて風通しの良い職場の雰囲気が出ていますか	5	3	1
得点計			

6. 財務管理			
①経営と家計は分離できていますか	5	3	1
②複式簿記による記帳を行っていますか	5	3	1
③会計処理はパソコンソフトを使って、事務の効率化を図っていますか	5	3	1
④減価償却費に関する知識を持っていて、内容を理解していますか	5	3	1
⑤財務諸表の内容を理解していますか	5	3	1
⑥借入金の返済計画に沿って、キャッシュフローを把握していますか	5	3	1
⑦制度融資を上手に活用していますか	5	3	1
⑧受取債務、支払債務は適切に管理されていますか	5	3	1
⑨青色申告を行っていますか	5	3	1
⑩固定資産への過剰な投資は行っていませんか	5	3	1
得点計			

7. 情報化管理			
①作業日誌を付けていますか	5	3	1
②食の安全安心のための生産履歴管理を行っていいいますか	5	3	1
③農業技術センターなど、公的機関の技術情報は積極的に入手していますか	5	3	1
④マーケット情報は複数の方法で積極的に入手していますか	5	3	1
⑤財務情報は分析の上、経営に反映させていますか	5	3	1
⑥有効な情報ネットワークを持っていますか	5	3	1
⑦従業員相互の情報の共有化を図る仕組みがあり、適性に機能していますか	5	3	1
⑧会計業務はパソコンなどにより合理化されていますか	5	3	1
⑨ホームページによる情報発信を行っていますか	5	3	1
⑩ハウス栽培などで温湿度管理、水管理を遠隔操作で出来ますか	5	3	1
得点計			

8. レーダーチャート

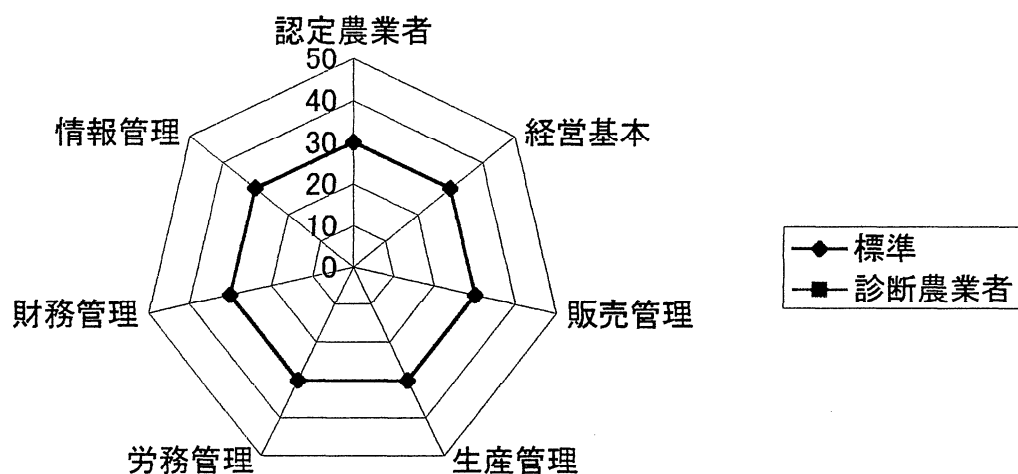
チェック日(平成 年 月 日) チェック者()
 個人名:

採点基準

- ・十分な状態 5
- ・実施しているが、十分とはいえない 3
- ・実施していない、当てはまらない 1

	認定農業者	経営基本	販売管理	生産管理	労務管理	財務管理	情報管理
標準	30	30	30	30	30	30	30
診断農業者							

経営力チェック



六条大麦、裸麦、ビール大麦生産費と収益調査表

(組織経営体・個別農家)

平成 年 月 日
単位金額 : 円 比率 : %

区 分			平成16年平均値			H 年実績	対比	／
			六条大麦	裸麦	ビール大麦			
生産費	10a当たり	物財費	25,502	41,110	35,002			
		労働費	7,114	17,815	9,249			
		費用合計	32,616	58,925	44,251			
		生産費(副産物価格差引)	32,463	58,727	37,441			
		支払利子・地代算入生産費	35,579	62,920	40,890			
		資本利子・地代全算入生産費	39,489	71,747	49,668			
	60kg当たり	生産費(副産物価格差引)	4,961	9,407	7,783			
		支払利子・地代算入生産費	5,437	10,079	8,501			
		全算入生産費	6,035	11,493	10,326			
収益性	10a当たり粗収益		31,850	51,690	41,181			
	10a当たり所得		2,870	6,116	2,628			
	1日当たり所得		5,327	4,098	3,413			
組織概況	10a当たり収量(kg)		328	375	240			
	10a当たり労働時間(時間)		4.56	12.10	6.26			
	1戸当たり作付け面積(a)		393.8	130.1	173.3			
	1戸当たり世帯員(人)		4.5	4.1	4.5			
	農業就業者	男(人)	0.9	0.7	0.6			
		女(人)	0.4	0.4	0.5			
		計(人)	1.3	1.1	1.1			
	経営耕地面積	田(a)	806.0	195.0	347.0			
		普通畑(a)	317.0	3.0	32.0			
		樹園地(a)	3.0	3.0	6.0			
		畑合計(a)	320.0	6.0	38.0			
		合計(a)	1,133.0	201.0	385.0			

(注)平成16年平均値は農業経営統計調査 平成16年度麦類生産費 農林水産省 2005.05.13 公表より